



学校生活に慣れた1年生

ゴール目指して懸命の力走

5月8日は町内の小学校で待ちにまった春季運動会が開催され、子供たちは日頃鍛えた成果を披露しようと大ハッスル。東小学校では、ようやく学校生活に慣れた1年生が百メートル走に挑戦。ゴールをにらみつける真剣なまなざし、いきおい余ってヘッピー腰、余裕しゃくしゃく顔とスタートの姿勢は個性豊か。お父さんやお母さん、心配顔で見守る先生の声援をうけてゴールを目差し懸命に力走していました。

人口と世帯数

(住民基本台帳による)

4月30日現在	(前月比)
総人口 25,256人	(31人減)
男 12,315人	(25人減)
女 12,941人	(6人減)
世帯数 7,262世帯	(20世帯増)

正しい測量でトラブル解消

地籍調査にご協力を

七日市地区で1,685ヘクタール実施

町では、昭和五十四年から計画的に地籍調査を実施していますが、ことしも七日市地域の千六百八十五ヘクタールについて調査を行うことになりました。調査は個人の土地の面積が町の予算で確認されるもので、財産を保全するためにも大切な調査です。

地籍調査は、土地の国勢調査ともいえるもので、国土調査の一つとして行われる大切な調査です。

今まで皆さんの土地のもとになつてた「土地台帳」や「制限図」は、明治の初めに地租をとりたてての目的でできたもので、当時の測量技術の幼稚さと長い年月を経たため、現況のうっかりかりにより、今ではまったくあてにならなくなり、大切な土地の境界争いの原因ともなっています。

地籍調査は、正しい測量によって、新しく地図と帳簿（地籍図と地籍簿）を作り、皆さんの土地の正しい位置、形、地番、地目、面積を明らかにするための調査です。

これができることで、区画整理をはじめ土地改良事業や、土木事業など、いろいろな建設事業の計画をたてたり、作業をするにも大変役立ちます。

また、災害その他の理由により、現地の境界が不明になつても、新しい地図で境界を復元することができ、境界をめぐるトラブルも解消され、大切な土地を護ることが出来ます。

一筆ごとの調査

調査は、田植えすぎに取りかかりますが、境界を明確にするため土地所有者に立ち合つてもらいますので、ご協力ください。

調査は、一筆ごとに行います。土地の分筆や合筆、地目変更などを希望される場合は、係に申し出るとそのように取りはからうことになります。また、道路や河川の拡張で個人の土地が買収されていても、合併以前の場合は登記が移転していない例がほとんどです。このような場合も正確に現況が確認されます。

▼調査を実施する七日市の小字は、明利又、一ノ渡、白沢、漆原岱、大沢、大沢口、階沢口、片逸、門ヶ沢、黒森、幸福岱、三の渡、三の渡大野、相善岱、仙戸石、袖取、タタラ口、長畑、猫平、林岱、林の沢、比留古岱、前谷地、孫助岱、松沢口、水無、水無屋敷、道の上、向中島、向の沢、湯津内、与助岱

調査の結果は

見てもらいます

調査は、平板測量のほか、航空写真による測量も行われており、地形や地上物が正確に測ることが出来ます。

また、測量が終つて地籍図と地籍簿ができあがると、二十日間役場で閲覧していただきます。その時は、自分の土地に間違いがないか確認してください。もし間違いがあつたらすぐ係に申し出てください。

地籍調査の問い合わせと連絡は役場管財課地籍調査係（電話二一〇一）内線三二〇へ

人事異動

保険衛生課長に 佐藤行氏

役場では五月一日付けで人事異動が発令され、空席になつていた保険衛生課長に佐藤行雄収入役室長が回り、収入役室長に米倉正治総務課参事、収入役経理係長に畠山康悦企画財政課企画係主任がそれぞれ昇格しました。人事異動は次のとおりです。

▼保険衛生課長（収入役室長）佐藤行雄
▼収入役室長（総務課参事兼庶務係長）米倉正治
▼保険衛生課長兼庶務を解く（助役）畠山喜代治
▼総務課長補

町長 日誌

4月16日・4月30日
河田杯マラソン大会
教育関係者懇談会
町防犯組合指導隊発隊式
25日
郡婦連婦人祭
27日
野球協会前夜祭
28日
日本下水道協会秋田県支部定時総会
29日
秋田市のクリーンアップ
30日
北秋田農業共済組合通
常総代会
鷹農、鷹高野球春の定期戦

佐兼庶務係長（収入役室長補佐兼経理係長）岩川元治
▼収入役室経理係長（企画財政課企画係主任）畠山康悦
▼保険衛生課衛生係主任（同課保険係主任）小坂信夫
▼町民課戸籍係主任（教育委員会図書館主任）永井啓子
▼企画財政課企画係主任（税務課資産税係主任）嶺脇裕徳
▼税務課資産税係主任（町民課戸籍係主任）佐藤伸
▼保険衛生課保険係主任（同課衛生係主任）寺園大志

たばこは

町内で

買いましょう

明利又・品類沢に

へき地診療バスを運行

町では、交通の不便な竜森、坊山、岩谷地区を対象に、公立米内沢病院の協力をえて、週一・二回へき地診療所を開設しておりますが、竜森地区の強い要請で、明利又から公立米内沢病院までの直通のへき地診療マイクロバスが週一回運行されることになりました。

へき地診療所は、へき地医療特別対策事業により昭和五十一年からスタート。診療所では全般にわたる診療と投薬が行われており、いずれの地区も定期バスが運行されていなかったり、運行本数が少ないことから関係住民に喜ばれております。

とくに、竜森地区は利用患者が多く週二回実施されています



（行き）
 ▼明利又発 9時15分
 ▼羽立 9時17分
 ▼松沢 9時20分
 ▼三ノ渡 9時25分
 ▼黒森 9時27分
 ▼上舟木 9時32分
 ▼揚ノ下 9時34分
 ▼下舟木 9時39分

が、地区の方々の強い要請により公立米内沢病院では、明利又と病院間に直通のマイクロバスを毎週水曜日（祝祭日の場合は運休）に運行することになったものです。

バスは五月四日から運行されました。当日は好天と農繁期のため、お年寄りや婦人など七八人が利用していましたが、利用者は「品類沢はバスが通っていないので本当に便利です。きょうは初回ですので知らない人が多いのではないですか」と語っていました。マイクロバスに乗車できるのは患者さんだけで無料です。運行時間は次のとおり。

吉ヶ沢 9時41分 ▼深沢 9時43分
 ▼下深沢 9時45分
 ▼品類 9時48分 ▼病院着 10時12分

（帰り）
 ▼病院発 13時40分
 ▼品類 14時04分 ▼下深沢 14時09分
 ▼吉ヶ沢 14時11分
 ▼下舟木 14時13分 ▼揚ノ下 14時18分
 ▼上舟木 14時20分
 ▼黒森 14時25分 ▼三ノ渡 14時27分
 ▼松沢 14時32分
 ▼羽立 14時35分 ▼明利又着 14時37分

また、へき地診療所の開設場所と日時は

◆竜森地区 毎週金曜日午後1時30分から2時30分まで、竜森保育所で。

◆坊山地区 毎週火曜日午後3時から4時30分まで、坊山会館で。

◆岩谷地区 毎週金曜日午後3時20分から4時30分まで、二本杉会館で。

日曜日に営業する ガソリンスタンド

5月15日…七日市農協

5月22日…舟見町キャッシュS

5月29日…合川農協GS

山菜採りの事故防止

山菜採りシーズンを迎えましたが、最近は道路がよく整備されているので、地理のわからない所でも山奥へ入ることができます。このために遭難する人も年々多くなっています。次のことを十分注意しましょう。

◆地理のわからない山には入らない

「危険区域」などの標示板のあるところは、前に遭難事故があったか、危険の多い山ですから入らないようにしましょう。

◆天気予報をよく確かめる

山の天気判断はむずかしく、部分的に急激に変化することがあります。天気が悪くなりそうな時は早く引きあげましょう。

◆入山者は団体で行動しよう。また集合時間、場所、コースなど打ち合えましょう

広報たかのすの



保存版が完成

このほど町では「広報たかのす」の保存版を完成させ、管内の学校や図書館に備えつけ、多くの町民に利用していただくことになりました。今回完成した保存版は、合

併までもない昭和三十年五月五日の創刊号から昭和五十一年十二月十五日付けの三百五十号までの千七百ページ余りを四冊一セットにして五十セツトをフィルム印刷したものです。

保存版には二十年余りの町のうつり変わりや、行政の変遷、行事の記録などが刻明に記載されており、町の歴史を知るうえで貴重な資料として関係者から喜ばれております。

また原版は町の予算で作成しましたが、希望者には百五十セツトを原価（五千円）で頒布しております。保存版は残り少なくなっていますので早めに役場広報係へ申込みください。

1万8千人の人出

吉野子どもの村にも8千人

ことしの四月は好天続きで気温が平年より二・六度高く、桜前線は駆け足で北上。四月二十九日から初まった飛び石連休と、中央公園の桜まつりは葉桜でスタートしました。

それでも、期間中は一万八千人が行楽を求めて公園を訪れ、花よりダンゴと酒を呑み交わす職場の人たちや家族づれ、糸を垂らすチビッコ大公望でにぎわいをみせていました。

また、町内の子供会ではハイ



▲家族づれでにぎわう中央公園

中央公園 桜まつり

▶チビッコ大公望たち



◀得意の歌でニンマリと

▼ことしの園遊会は久しぶりに屋外で



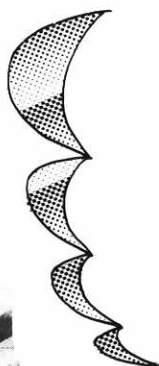
▲稚児行列でチョコッピリ緊張





▲人形劇には子供も大人も熱心に

桜前線はかけ足で北上 桜まつりに



キングやサイクリングなどで、好天に恵まれた大型飛び石連休を楽しんでいました。

一方、吉野学園では「一人ひとりに思いやりを」のスローガンで、こととして三回目の「吉野子どもの村」を五月一日から三日まで開催。期間中は、千人が訪れ、園生の作品を見学したり、人形劇や模擬店、アスレチックコースなどで思い出多い休日をご過ごしていました。



▲格安の模擬店にも人気集中

吉野

子どもの村



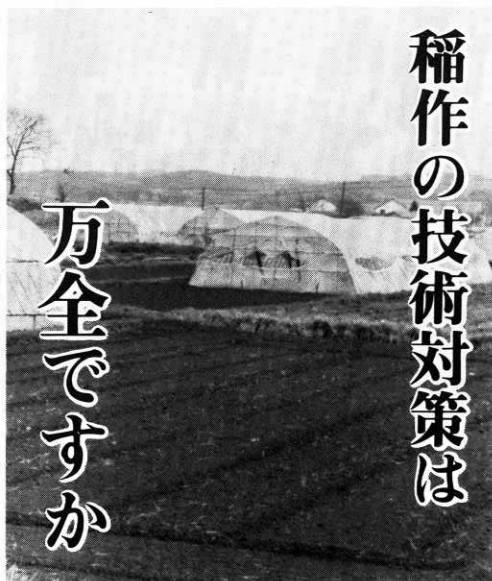
◀時間のたつのも忘れて大はしゃぎ



▲体の不自由な方も訪れていました

稲作の技術対策は

万全ですか



町農業指導センター

苗代期は気温も高く、苗は一般に徒長し、農作業を進め適期田植を実施しましょう。

▼田植

田植は、適期内でも、田植当日の天候により、その後の生育が大きく左右されるので、好天の日に田植をしましょう。また、田植が遅れる場合は中晩生品種から先に植えるようにしましょう。

①栽植密度：早期茎数の確保の点から、平坦部で、三・三平方に当り八十二株、山間部で八十五株・九十株をメドとする。

②植付本数：一株植付本数は稚苗で五・六本、中苗は四・五本

③植付の深さ：稚苗で二・五、中苗は二・五を目標に浅植にする。深植は、下部の分けつが抑制され出穂が遅れるので要注意。

▼補植

補植は移植後十日以内に行う。

浮苗や埋没などにより欠株を生じた場合で、一株ごとの平均よりも三十センチ以上離れていたなら一株補植する程度でよい。

▼田植直後の水管理

浮苗防止のため一日程度浅水にし土を落ちつかせ、その後活着するまでの四・五日間は苗丈の三分の二位（五・六センチ）の深さにする。活着後はできるだけ早く浅水にするとともに地温の上昇に努める。

▼活着期追肥

時期：移植後五・六日頃。活着後はなるべく早く追肥をする。目安としてチッソ成分で十センチ当り二モグラ、リンサン二モグラ。速効性の肥料を使用する。

▼病害虫防除

苗いもち病はよく観察し、発生を見たら、ラブサイド剤を下

葉にもよく付着するように散布し本田に持ちこまないよう注意する。

ことしは四月上旬以降平年に比し気温が二・三度高く、箱苗の徒長が目立ち、今後かなり過繁茂の状態が予想されますので、苗立枯病や苗いもち病に注意すると共に突然の寒さでムレ苗の発生がでやすくなりますから注意してください。

▼病害虫発生予察情報

一、イネハモグリバエ

第一世代の発生はやや早い。発生量は少ない。第二世代の発生は平年並。発生量は少ない。

二、イネドロオイムシ

発生時期はやや早い。発生量は少ない。

三、ニカメイガ

発生時期やや早い。（六月二半旬）発生量少ない。

四、イネカラバエ

発生時期やや早い。発生量は平年並。山間地や常習発生地及びアキユタカ、アキヒカリの栽培田では十分注意のこと。

五、イネヒメハモグリバエ

発生量は局部的にやや多い。昨年の多発の影響と暖冬経過から沿岸部に局地的な発生が予想されている。

◇ ◇

病害虫の発生や不明な点は、秋田県北部病害虫防除所に問い合せて事前防除に努めましょう。

保健婦だより

ご存知ですか 保健補導員の活動を

町の保健補導員制度は、昭和三十七年に設置されており、ことしで二十一年目を迎えました。

保健補導員は、地域の婦人からなっており、町の保健事業を地域住民に浸透させ、町民の健康づくりに大きく貢献しております。

保健補導員の推せんは、婦人会や町内の推せんに基づいて、町長が委嘱します。

原則として町内一人とし、必要に応じて増員しており、全町で百四十三人。任期は二年です。補導員は何よりも地域住民の把握が必要であるために小さい集落は別として、二期、三期と続けて活躍してもらいたいのですが、就労婦人の増加や婦人会員の伸び悩みなどもあって、活動家の育成がむずかしい、集落では交代制をとっているところもあり婦人会や町内で大変苦勞して推せんしているようです。

活動の主なもの、町で行う各種検診（結核、婦人病、胃）について、担当区域内へ連絡し、受診を呼びかけて希望のとりまとめをし、又その結果を個人に返してもらっています。

地域住民とのつながりの強い「補導員さん」から、検診を呼びかけられて受診し、一年間安心して暮らせるこの呼びかけ運動は住民に広く浸透して、鷹巣町は県内でも検診成績がよく、高く評価されています。

結核検診は九五パーセント、婦人科検診、胃集団検診四〇パーセント前後で三人のうち一人の受診となっており、これは県及び国の平均から見ると高い率を占めています。

五十八年度の保健補導員大会及び研修会は五月十三日役場で開催されました。

午前は秋田大学の対馬清茂先生の「中年婦人の健康づくりと生きがい」について講演。午後は五十八年度の保健事業について研修しました。

地域住民に信頼されるリーダーとしての自覚と知識を深める研修を重ねてますます高まる健康づくりの意識強化に活躍が期待されています。





4月29日に全町クリーンアップ

1,300人で汚れを一掃

“クリーンふるさと”を呼びかけて、四月二十九日午前五時三十分から町内河川の汚れを一掃しました。

全町一斉のクリーンアップは、ことしで三回目。当日は祭日とあって、米代川、小猿部川、小森川、綴子川、糠沢川、前山川の六河川に千三百人余りが参加しました。

参加者は、ビニール袋を手に入缶やビニールなどのゴミを丹念に拾い集め、また川辺の柳などの雑木を切り落すなど、川魚のすむ美しい郷土づくりを目指して作業を進めていました。

それぞれの河川で集められたゴミ約五十トン余りは、建設省や県、町のダンブなど十一台に積み込み、町営埋立地に運んで処理しましたが、ゴミのなかには冷蔵庫やテレビを捨てており、相も変わらず不法投棄が後を絶たない状態。「河川は町民の憩いの場、みんなの自覚できれいにしなくては」と参加者はもらっていました。

出稼ぎ互助会に加入

出稼ぎを予定されている方は、万に備え、出稼ぎ前に互助会に加入し、健康診断を受け安心して就労してください。

加入手続は、一年分の会費千円を添えて役場商工観光課、または各農協で行ってください。

老人憩の家「青葉荘」をご利用ください

おとしよりのみなさん、休養、レクリエーション、研修などにお気軽にご利用ください。
時間は午前九時から午後五時まで。利用料は無料です。
毎週月曜日と祝日は休みです。
おとしより以外のかたも利用できますが、この場合は有料です。

申し込み、お問い合わせは町民課福祉係へ（☎ 二一—一—一：内線一二四）



（道路改良工事）

▼工事場所 旭町地内 ▼請負額 二百三十万円 ▼請負者 長岐建設・長岐六郎 ▼工事期限 五月三十日

（舗装新設工事）

▼工事場所 前山字露山下地内 ▼請負額 九十万円 ▼請負者 佐藤建設・佐藤清治 ▼工事期限 五月十五日

▼工事場所 伊勢町地内 ▼請負額 二百七十万円 ▼請負者 秋田土建・北林庄作 ▼工事期限 五月二十日

▼工事場所 今泉字中台地内 ▼請負額 百九十万円 ▼請負者 佐藤建設・佐藤清治 ▼工事期限 五月十五日

暮らしに生かそう確かな目

消費者意識を高める週間

最近、新しい商品やサービスが次ぎつぎと登場して、取り引きも複雑になっています。このため、消費者意識を高める週間、を設けて、消費生活の安全と利益を守ることになりました。

町の協力店舗（下記ポスター掲示店）では記念割引セールが実施されます。

（祝）'83「消費者意識を高める週間」

昭和58年5月27日～6月2日

割引セール協力店

期間 昭和58年5月27日
～6月2日

交通遺児奨学生募集中

保護者が道路上の交通事故で死亡したり、重い後遺障害で働けないため教育費に困っている。中学3年生（成績不問）で来春高校・高専進学をめざしている生徒。

▼奨学金 国公立2万円、私立2万5千円

▼返還 20年間割賦返済・無利子

▼採用方法 書類審査のみ

▼申込み 昭和58年7月30日まで

※このほか私立高校入学の場合、入学一時金制度があります。また、大学生、専修・各種学校生にも奨学制度がありますし、東京には学生寮もありますのでご利用ください。

《くわしくは》

財団法人 交通遺児育英会

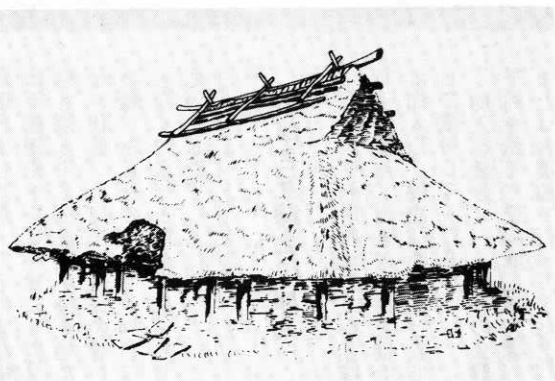
〒100 東京都千代田区永田町1-11-28

電話 東京 (03) 581-2271

あしながおじさん／交通遺児の進学をお願いします。

郷土の 遺跡から学ぶ

綴子地区少年教室



大きくりっぱな物だったようです。それは、みつかった柱で想像することが出来ます。全部一本の杉からとった柱や板をみて、その事がわかります。
横が七・三寸、縦が五・五寸の建て物がすべて一本の杉の太木からとっているのです、この近くには杉の太木がたくさんあったと思われます。
私たちが話し合った事は、この大きな柱や、厚く長い杉の板をどんな道具で作ったかという事です。想像では柱や板の切ったあとがわりとなめらかなので鉄の道具で切ったはずだったのではありませんかと思えます。

秋田県立博物館を見学

私たちの見学の一番大きな目的は、胡桃館の建物を復元するとどんな建物になるかということでした。

全部杉材でできており、特徴としては、殆んど窓がないという事です。窓がないのは、反乱などが起きた時にこの館を守るためではないでしょうか。
屋根は、うすい杉板「杉マサ」でしか、その上にたくさん石があげられています。風でとばされなためです。……

役所をたてるための

仕事は

胡桃館にあった建て物は、この地方には見られないくらいのも

「花いっぱい運動」に参加して

59 インターハイを成功させよう

この胡桃館遺跡は、約九百年

ふるさと 人物伝 46

佐藤 敏吉

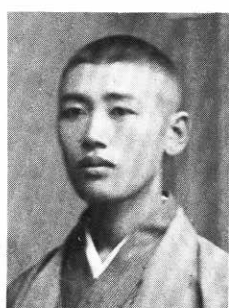
(二八八六—一九六五)

「坊沢のシュンキ」といえばこの近くでは人に知られた山師であった。

昭和十六年から二十六年まで緑ヶ丘小学校の近くに炭山があった。戦中、戦後の物の不足な時代であったので、最盛期には従業員百五十四人、月産二千二百トの石炭を前山

駅に鉄さくで運び、関東方面に送り出していた。「東洋炭鉱」といっていたが、もともとは敏吉が切り開いたもので、彼は坊沢にあった自分の家をここに移動して住んでいた。

当時、緑ヶ丘の分校に勤めていた私たちに「この近くには砂鉄や石炭がいっぱい眠っている。この地下資源を掘り



出し米代川に橋を架けて送り出さなければ」と、夢を語っていた。

敏吉は明治十九年十一月三十日、坊沢の佐藤太吉の長男として生まれ、坊沢小学校高等科を卒業する。

一時満州に渡るがほどなくして帰郷、青年会長となり同志等と深関を開拓。当時の模様を妹の大川止美恵さんは「珍しいことは何でもやる人で、ラッパのついた蓄音機を持っていた。老人たちは、この箱の中になんば小さな人っことはいつてるべ」といっていた」

昭和二十二年、山の分校にも新制中学校が併置され、体操場が教室になった。新しく体操場を増築しなければならぬのだが、坊沢村の財政はきびしく、村議会に反対意見が多かった。この時、炭山の敏吉じさまは、村議員を戸別訪問して説得し、二十四年五月、立派な体操場を竣工した。

昭和四十年彼は八十歳の生涯を閉じ、炭山も、学校も、そのあとは今草原になっているが、無精ヒゲをはやし乃木大将に似た彼の風ぼううは私から消えない。

(資料 妹大川止美恵氏談)
文責 中央公民館長 長崎久



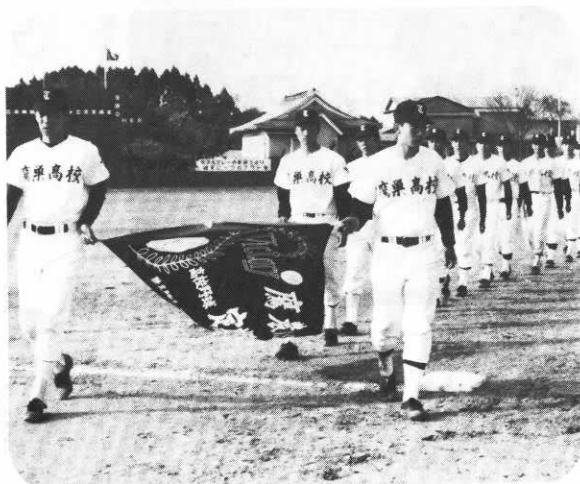
自立農業経営振興会が発足

農業生産の再編成と生産性の向上を図るため、地域農業の振興を担う「自立農業経営振興会」の設立総会が4月26日午前10時から役場三階で行われました。

当日は20人が参加。会長に岩本長右門（七日市）副会長に斎藤金逸（栄）、佐藤正（綴子）の各氏が選任され、農林業近代化の促進、経営技術及び改善を図るため研修会を行うことなどを決めました。

いよいよ野球シーズン到来。4月27日午後6時から中央公民館で、おはよう野球と職場野球の「前夜祭」が行われました。会場にはおはよう53チーム、職場44チームの選手が参加。「ダブルプレーの華麗さより、確実に一つのアウトを日常生活に生かそうと、中川篤三郎会長が力強くあいさつ。5月1日から熱戦の火ぶたが切って落されます。

「確実にアウトを」と前夜祭



鷹高がペナントを手に

甲子園を目指して鷹農農林高校対鷹巣高校の第2回野球定期戦が4月30日午後2時から町営野球場で開催されました。当日は、西風が強く吹きつけハダ寒いグラウンドコンディションにもかかわらず、スタンドの声援を受けて熱戦が展開され、攻守の鷹高が鷹農をシャットアウト。3対0で昨年の雪辱をはらした。鷹高ナインは町長寄贈のペナントを手にダイヤモンドを一周。



「先覚者の偉大な足跡を見失わないよう、より団結を強めて婦人活動を推進しよう」と訴えて、第36回

北秋田郡連合婦人会婦人祭が、4月27日午前10時から中央公民館で開かれました。当日は450人が参加。▷くらしを高める婦人運動▷明るい社会づくり運動▷組織の強化運動…などの重点目標を決め、アトラクションでは、得意の芸を披露し親睦を深めていました。

婦人祭で得意の芸を披露





県北愛石会と短歌会の色紙展

学習団体・グループの紹介

みなさんの参加を 歓迎します

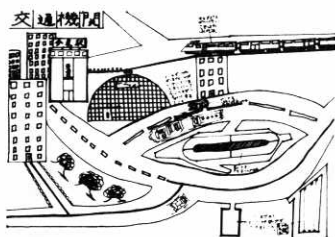
四月十五日付けの広報で、中央公民館で行われる定期講座（十講座）、および自主運営講座（十三講座）の講座生の募集をしました。が、町にはたくさんのおの活発な活動を展開してあります。簡単に各団体を紹介しますので自らすんで、気軽に参加いたしませんか。

一生を通じて打ち込める目標なり、趣味なりをもつことは、きつとその人の人生を豊かにすることでしょう。学びの輪を大きく広げ、うるおいの心、豊かな心を結び合いたいものです。



混声合唱団と碓合社中の共演

各団体・グループ	学習日・例会等・場所	連絡・申し込み先	各団体・グループ	学習日・例会等・場所	連絡・申し込み先
古典文学	毎月第2,4(金)午後1時30分より＝中央公民館	長崎佐太吉 (2-1089)	鷹巣町盆栽愛好会	日時不定	河田三之丞 (2-0276)
鷹巣地方史研究会	研究会 年3回＝中央公民館	二階堂善三 (2-1031)	手話サークル 「みずたまり」	毎週(木)午後6時30分より＝中央公民館	堀内順悦 (2-2108)
鷹巣町読書会	毎月1回20日頃の月曜日午後7時より＝図書館	長崎佐太吉 (2-1089)	鷹巣ボランティア	毎月15日午後6時より＝中央公民館	中林三千夫 (6-2234)
鷹巣短歌会	毎月第2(日)午後1時より＝中央公民館	佐藤八千代 (2-1421)	婦人ボランティア	毎月15日午後6時より＝中央公民館	佐藤繁子 (3-0681)
潮音秋田短歌会	毎月第2(土)午後1時30分より＝合川老人ホームが森吉農協	菊地みどり (2-4100)	鷹巣混声合唱団	毎週(木)午後7時30分より＝中央公民館	嶺脇裕徳 (2-1357)
鷹巣俳句会	毎月1回(日時不定)＝中央公民館	五代儀幹雄 (2-0316)	鷹巣室内合奏団	毎週(水)・(金)＝ルンビニ幼稚園＝午後7時より	北島智仁 (2-2272)
鷹巣書道同好会	毎月6の付く日午後7時より＝伊藤静夫宅(松葉町)	伊藤静夫 (2-2448)	鷹巣民謡三味線尺八研究会	毎週(火)午後2時と7時より＝大栄商事2階	藤島茂治 (2-0202)
鷹巣絵画クラブ	毎月第1(水)午後7時より＝中央公民館	成田正宏 (2-1130)	鷹巣吟修会(詩吟)	毎月第1,第3(土)午後1時より＝中央公民館	小笠原吉郎 (2-2523)
鷹巣フォートグループ	研究会 年3回	千秋軒カメラ (2-0770)	演劇サークル	日時、場所未定	藤島一 (2-4620)
北の風写真同人	年2回写真展 例会随時	村上信夫 (2-9526)	社交ダンス教室	毎週(金)午後7時より＝中央公民館	岩本昭義 (2-3739)
色紙人形教室	随時＝成田明子宅	成田明子 (2-0536)	フォークダンス協会	日時、場所は6月に決定	佐藤周治 (2-0196)
県北愛石会	展覧会年2回 探石会年2回	津谷佳男 (2-1636)	鷹巣山岳会	毎月15日午後6時30分より＝中央公民館	村上一美 (2-2411)
囲碁同好会	毎週(日)午後2時より＝鷹巣女子専門学校	成田達雄 (2-1615)	農業近代化 ゼミナール	毎月一回、日時不定＝中央公民館	九島敏昭 (2-3063)
鷹巣将棋クラブ	毎月20日午後7時より＝鷹小か三国平三郎宅 大会年3回	近藤与治助 (2-2405)			



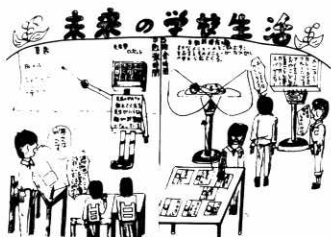
篠内 孝樹くん
(5年生)



未来の絵

＝ 西 小 学 校 ＝

戸沢江里子さん
(6年生)



不能のスプリングカメラがある。中一の時、私が父から貰ったカメラである。どういうわけか、データーは絞りF5.6の1/125を常用した。



あけぼの町 嶋海茂雄(37)

写真と私

人の学校の暗室を使わせてもらった。水洗いも掃除用のバケツを使ったりもしたが、高校二年の時、運悪く愛機をコンクリート上に落として、ボディの変形シャッターの狂いを生じ、泣きなき諦めなければなりませんでした。その後、十年近くカメラを手にすることが出来ませんでした。ある日、書店で何気なく写真集に目をやっておりまして、「スペイン戦争・兵士の死」という写真に心を惹かれました。作者は四十一歳の若さで不幸にもこの世を去ったロバート・キヤパでした。写真は芸術？記録？当時は写真学ということに

全く無知だったわけですが。ただ「写真は瞬間が勝負だ」と思いました。スナップから風景、技法、気の向くまま、心の向くままにシャッターを切っている現在です。それが又、アマカメラの特権なのかも知れません。どちらかというと最近自然をモチーフにしたものが多いようです。ともすれば風景には瞬間がないように思われがちですが、そこにも瞬間はあるようです。「写真」という語りかけの中に、自分が写真に求めてゆくもの、文化、心の豊かさを大切にしながら、シャッターを切りつづけたと思います。

みんなの広場



リソウ

(キンボウゲ科)

フクベナ、アズキナとも

言い、おひたして食べる。

(鷹巣南小学校 島山益穂先生)

緑のめぐり

緑

植物は、空気中の二酸化炭素を取り入れ、光合成によって酸素を発生します。酸素はいうまでもなく、人間が生きるうえでなくてはならないものです。

地球上でこの酸素を発生しているのは、植物だけなのです。人間一人が一年間に吸う酸素の量は、杉の木十六本分でまかなわれているそうです。人間はもとより、酸素を吸って生活している生物は、すべて植物のおかげで生きているのです。また、空気中のホコリやばい煙を少な

くするという働きもしています。大きな意味では、土砂崩れを防いだり、「自然のダム」といわれるように水資源を涵養するといった働きをしています。樹木は「緑の下力持ち」的な役目を果たし、わたしたちの生活を守ってくれているのです。

春

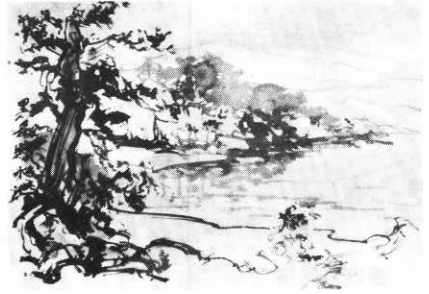
たかのす文芸

鷹巣中一年 中嶋将信

長い長い冬が終わり
出稼ぎに行っていた
父が帰ってくる
そして
一年の農作業が始まる

中苗をつくり
そして
田植えをする
父母は、豊作を願う
ぼくも、豊作を願う
みんな、豊作を願う

おしらせ



一線美術会運営委員 九島寛二氏

五月の健康相談

五月の健康相談は、次のとおりです。

成人健康相談は、二十五日まで。

時間は、午前九時から午後三時まで。血圧測定のほか、必要に応じて尿検査も行います。

妊婦健康相談

妊婦健康相談は、十六日まで。時間は、午前九時から午後三時まで。おいでの時は母子手帳を忘れずにお持ちください。

また、今月の母親学級は、妊娠中の日常生活と栄養について、沐浴指導、分娩及産後の注意について。

時間は、午前十時から十一時まで。
※場所は、いずれも中央公民館保健相談室です。

国税専門官募集

国税庁では国税専門官を募集しています。

これは国税専門官試験に合格し、採用されますと、実務に従事する前に税務大学校で三ヵ月程度の初任者研修を受け、その後各国税局管内の税務署に配置されます。

さらに三年経過後に、六ヵ月程度の専門研修を経て国税調査官、国税徴収官などに任用されます。

受験資格などは次のとおりです。

▽受験資格Ⅱ昭和三十一年四月二日から三十七年四月一日までに生まれた者

▽申込期間Ⅱ昭和五十八年五月十六日から五月二十三日まで。

▽試験Ⅱ第一次試験（七月九日および七月十日）、第二次試験（九月十三日および九月十四日）

▽最終合格発表Ⅱ昭和五十八年十一月一日

▽申込み先Ⅱ仙台市本町三十二番二十三 人事院東北事務局なお、くわしいことについては大館税務署総務課（大館四二一〇六七）へお問い合わせください。

花だん写真募集

県の花いっぱい運動の会では「春花だん写真コンクール」用の写真を募集しています。応募される方（団体）は、六月二十日まで、中央公民館へ申込んでください。

▽対象Ⅱ学校、子供会、各種クラブ、職場及び家庭

▽応募方法Ⅱカラー写真五枚（サービサイズ）及び花だん見取図

▽表彰Ⅱ十月下旬

新町内協力委員

▽七日市地区

七日市六組 佐藤 行二
鷹巣地区
花園町 高橋 良昌

停電のお知らせ

五月の作業停電は、次の地区です。

▽23日Ⅱ川口地区

▽25日Ⅱ吉野地区

▽26日Ⅱ田沢、李岱地区

※時間は、いずれも午前九時から午後一時まで。

善意

鷹巣絵画クラブから、絵画チャリティー展の収益金の一部として三万五千円を、町社会福祉

協議会へ寄付金がありました。ご芳志に深く感謝いたします。

香典返し

このほど次のかたから、香典返しにと町社会福祉協議会へ寄付金がありました。

ご芳志に深く感謝いたします。

▽小森Ⅱ神成キヨさんから亡父吉郎さんの香典返し

▽前山Ⅱ熊谷長司さんから亡父徳太郎さんの香典返し

▽坊沢大町Ⅱ佐藤銀三郎さんから亡父儀七郎さんの香典返し

▽糠沢Ⅱ米沢嘉信さんから亡母ヤエさんの香典返し

▽二本杉Ⅱ佐藤良一さんから亡妻ヒナさんの香典返し

▽坊沢上町Ⅱ木村茂樹さんから亡祖父喜八さんの香典返し

▽中畑Ⅱ長岐吉吉さんから亡父長治郎さんの香典返し

▽舟見町Ⅱ成田喜好さんから亡母マンさんの香典返し



4月16日～4月30日

誕生おめでとうございます

山口 桜（正治郎長女）南鷹巣

榎本絵里子（尚義 二女）元町

重信 真澄（善裕 長女）大町

石井 春江（正司 二女）前野団地

野呂 美貴（忠孝 長女）前山

村上 朋子（謙正 二女）太田

佐藤 浩睦（永彦 二男）宮前町

齊藤郁知子（利喜雄長女）堂ヶ岱
土佐 春菜（勝紀 長女）南鷹巣
中島美智子（秀雄 長女）舟見町
中島 慎吾（恭司 長男）小ヶ田
照内 里子（均 長女）下町
渡辺 瑞穂（優 長女）旭町
津谷明生子（憲生 二女）街道町
畠山紗矢佳浩（二女）藤株
二人の前途を祝福いたします

佐藤 一美 根本屋敷
若松 陽子 阿仁町
若松 里志 森吉町
三浦 恵美子 大町
能登谷 博志 深関
三沢 信子 新田中
河田 秀彦 元町
岩谷 光子 摩当
工藤 勝美 住吉町
津谷 正子 坊沢上町
上関 恵悦 あけぼの
大原 正子 大館市
齊藤 金明 太田
石川 みね子 能代市
佐藤 茂美 田代町
工藤 照栄 小田
佐藤 憲一 北海道
佐藤 憲子 田子ヶ沢
鈴木 真喜男 あけぼの
佐藤 雄子 旭町

おくやみ申しあげます

堀部 藤松（73歳）葛黒
張 乙仙（78歳）住吉町
三澤 妙（76歳）田中
津谷 與八（74歳）田中